

|   |  |   |   |                                    |
|---|--|---|---|------------------------------------|
| ■After<br>建築名称<br>下段: 英語名   | Hタウンハウス<br>H Townhouse   |   |    |                                    |
| 建築用途  | 大分類 住居施設   | 小分類 共同住宅(3住戸)   |   |                                    |
| 改修設計者   | メグロ建築研究所   | <a href="#">URL</a>   |   |                                    |
| 所在地   | 東京都港区  | <a href="#">Google Map</a>  |   |                                    |
| 改修年   | 2024年  |   |   |                                    |
| 建築規模  | 構造: 鉄筋コンクリート造、階数: 地下1階 地上3階、敷地面積: 710.12 m <sup>2</sup> 、延床面積: 803.89 m <sup>2</sup> |   |   |                                    |
| 掲載書誌  |  |   | After 外観  |                                    |
| 賞・選定  |  |   |   | 撮影者 福田駿 2024年撮影<br>提供者 福田駿 2024年撮影 |
| 資料・その他  | <a href="#">URL</a>  |   |   |                                    |
| 概要 after  |  |   |   |                                    |
| 外部と共有部は竣工時のデザインを尊重し、各住戸の間取りは近年のニーズに応えたものに改修した。また耐震補強も行った。                           |  |   |   |                                    |
| ■Before<br>建築名称   | Hタウンハウス  |   | 概要 before   |                                    |
| 建築用途  | 大分類 住居施設   | 小分類 共同住宅(3住戸)   |   |                                    |
| 概要 before   |  |   | 原設計は一ノ宮賢治。増築と後から施された外壁防水によって竣工時の魅力が損なわれていた。また住戸の間取りも変更されていた。                          |                                    |
| ■写真   |  |   |   |                                    |
| 改修前外観<br>Before   | After 1階 ラウンジ。   |   | After 1階 リビング。  |                                    |
|  |  |   |  |                                    |
| 撮影者 提供者   | メグロ建築研究所 2022年撮影   | 撮影者 提供者   | 福田駿 2024年撮影   |                                    |
| ■リノベーション内容  | キーワード  | 内容  |   |                                    |
|   | 外観保存、復元・復原、文化・産業遺産、補強、記録   | 1969年に建てられたこの賃貸集合住宅は、度重なる改修と増築を経て竣工時の魅力が損なわれていたが、オーナーの代替わりと居住者の退去により、住戸のアップグレードと外部や共有部の魅力を取り戻し、再び半世紀使い続けられるための改修を行うこととなった。残存するオリジナル部位を残すことを原則に、新たに付け加えた要素は素材の違いによって判別できるデザインとしている。外部では、屋上の増築部分を撤去し、外壁に施されていた分厚い防水は剥離して、新たに目立たない外壁防水を施した。スチールサッシュの腐食部は、カットして新たに同部材を溶接し、再び構造用ガasketを復原した。間取りでは、ベッドルームを2つから3つに変更している。新たに設けられた耐震壁はRC打ち放し仕上げとして、明確な存在として現れている。また、3階にはシャルロット・ペリアンが居住していたことがあり、彼女のデザインによる扉はクリーニングに留めて保存している。 |   |                                    |
| ■備考   |  |   |   |                                    |
| ■作成者<br>氏名/所属   | 平井充/メグロ建築研究所   |   | 作成協力者   |                                    |